

Rec'd PCT/PTO 21 APR 2005

PCT/JP 03/13862

10/532062

日本国特許庁

JAPAN PATENT OFFICE

16.12.03

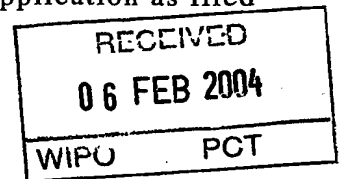
別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application: 2002年10月30日

出願番号
Application Number: 特願2002-316282
[ST. 10/C]: [JP 2002-316282]

出願人
Applicant(s): 沖電気工業株式会社

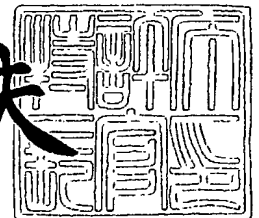


PRIORITY
DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

2004年 1月22日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井康夫



出証番号 出証特2003-3112318

【書類名】 特許願

【整理番号】 SI004092

【提出日】 平成14年10月30日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気工業株式会社
社内

 【氏名】 長谷部 忍

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気工業株式会社
社内

 【氏名】 西尾 美和

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気工業株式会社
社内

 【氏名】 黒田 充彦

【特許出願人】

 【識別番号】 000000295

 【氏名又は名称】 沖電気工業株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100116207

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 青木 俊明

【選任した代理人】

 【識別番号】 100089635

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 清水 守

【選任した代理人】

【識別番号】 100096426

【弁理士】

【氏名又は名称】 川合 誠

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 102474

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0008808

【包括委任状番号】 9001052

【包括委任状番号】 9001053

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 F A X 受発注決済システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 (a) 仕入れ商品又は役務を発注するバイヤのファクシミリ装置と、

(b) 前記仕入れ商品又は役務を受注するサプライヤのファクシミリ装置と、

(c) 前記仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を行う決済処理機関と、

(d) 前記バイヤ及びサプライヤのファクシミリ装置並びに決済処理機関と通信可能に接続された F A X 受発注決済サービスセンタとを有し、

(e) 該 F A X 受発注決済サービスセンタは、前記バイヤのファクシミリ装置から受信した発注情報に基づき、前記サプライヤのファクシミリ装置に発注情報を送信するとともに、前記仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を決済処理機関に依頼し、前記決済処理の結果を含む報告を前記バイヤ及びサプライヤのファクシミリ装置に返信することを特徴とする F A X 受発注決済システム。

【請求項 2】 前記バイヤ又はサプライヤのファクシミリ装置は、固定電話インターネットサービスに適合する請求項 1 に記載の F A X 受発注決済システム。

【請求項 3】 前記 F A X 受発注決済サービスセンタは、受注情報、前記発注情報及び決済処理結果を格納するデータベースを備え、所定の期間内における前記決済処理の結果を含む報告を前記バイヤ又はサプライヤのファクシミリ装置に送信する請求項 1 又は 2 に記載の F A X 受発注決済システム。

【請求項 4】 前記 F A X 受発注決済サービスセンタは、バイヤ及びサプライヤ登録管理 A P 部を備え、バイヤ及び該バイヤと取引を行うサプライヤの情報をあらかじめ登録して管理する請求項 1 又は 2 に記載の F A X 受発注決済システム。

【請求項 5】 前記 F A X 受発注決済サービスセンタは、F A X 受信処理部及び F A X 送信処理部を備え、受信した発注書のファクシミリデータを O C R 機能を利用して分析し、確認のためにバイヤのファクシミリ装置に返信する請求項 1 又は 2 に記載の F A X 受発注決済システム。

【請求項 6】 前記 F A X 受発注決済サービスセンタは、送金管理部を備え、バイヤがファクシミリ装置又は電話から発注の中止又は変更の指示を送信した場合、取引の中止又は変更を行う請求項 1 又は 2 に記載の F A X 受発注決済システム。

【請求項 7】 前記 F A X 受発注決済サービスセンタは、送金管理部を備え、サプライヤがファクシミリ装置又は電話から発注の中止又は変更の指示を送信した場合、取引の中止又は変更を行う請求項 1 又は 2 に記載の F A X 受発注決済システム。

【請求項 8】 前記バイヤのファクシミリ装置が固定電話インターネットサービスに適合する場合、バイヤが認証用紙のファクシミリデータを F A X 受発注決済サービスセンタに送信したとき、該 F A X 受発注決済サービスセンタは、受信した電話番号に基づいてバイヤの電子メールアドレスを取得し、バイヤに電子メールを送信することによってバイヤの認証を行う請求項 1 又は 2 に記載の F A X 受発注決済システム。

【請求項 9】 前記バイヤのファクシミリ装置が固定電話インターネットサービスに適合する場合、バイヤが認証用紙のファクシミリデータを F A X 受発注決済サービスセンタに送信したとき、該 F A X 受発注決済サービスセンタは、受信した電話番号に基づいてバイヤの電子メールアドレスを取得し、バイヤに発注元、発注商品、発注金額等を入力することができるウェブページの U R L が記載された電子メールを送信し、バイヤは前記ウェブページに入力することによって発注する請求項 1 又は 2 に記載の F A X 受発注決済システム。

【請求項 10】 (a) 仕入れ商品又は役務の発注情報をバイヤのファクシミリ装置から受信し、分析し、データベースに格納する受信処理部と、

(b) 前記仕入れ商品又は役務の発注情報をサプライヤのファクシミリ装置に送信する送信処理部と、

(c) 前記仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を行う決済処理機関と通信を行う決済処理機関通信インターフェイス部とを有し、

(d) 前記発注情報に基づき、前記サプライヤのファクシミリ装置に発注情報を送信するとともに、前記仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を決済処理機関に

依頼し、前記決済処理の結果を含む報告を前記バイヤ及びサプライヤのファクシミリ装置に返信することを特徴とする F A X 受発注決済サービスセンタ。

【請求項 11】 前記決済処理に基づく資金の移動を管理する送金管理部と、前記資金の移動の履歴を格納する送金管理データベースとを有する請求項 10 に記載の F A X 受発注決済サービスセンタ。

【請求項 12】 所定の期間内における前記決済処理の結果を含む報告を前記バイヤ又はサプライヤのファクシミリ装置に送信する請求項 10 又は 11 に記載の F A X 受発注決済サービスセンタ。

【請求項 13】 (a) 仕入れ商品又は役務の受発注及び決済を行うために、コンピュータを、

(b) 仕入れ商品又は役務の発注情報をバイヤのファクシミリ装置から受信する受信処理部、

(c) 前記仕入れ商品又は役務の発注情報をサプライヤのファクシミリ装置に送信する送信処理部、及び、

(d) 前記仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を行う決済処理機関と通信を行う決済処理機関通信インターフェイス部として機能させ、

(e) 前記発注情報に基づき、前記サプライヤのファクシミリ装置に発注情報を送信するとともに、前記仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を決済処理機関に依頼し、前記決済処理の結果を含む報告を前記バイヤ及びサプライヤのファクシミリ装置に返信するようにする F A X 受発注決済サービスプログラム。

【請求項 14】 (a) 仕入れ商品又は役務を発注するバイヤのファクシミリ装置から発注情報を受信すると、

(b) 前記仕入れ商品又は役務を受注するサプライヤのファクシミリ装置発注情報を送信するとともに、

(c) 前記仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を決済処理機関に依頼し、

(d) 前記決済処理の結果を含む報告を前記バイヤ及びサプライヤのファクシミリ装置に返信することを特徴とする F A X 受発注決済方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、FAX受発注決済システムに関するものである。

【0002】**【従来の技術】**

従来、小売店等のバイヤが卸売業者等のサプライヤから商品、原材料等の仕入れ商品を購入する場合、前記バイヤは、仕入れ商品の品目、数量等の発注内容をファクシミリ（facsimile、FAX又はファックス）によってサプライヤに送付するようになっている。この場合、前記バイヤは前記発注内容が記載された用紙を自己のファクシミリ装置に読み取らせ前記発注内容を送信することによって発注を行い、前記サプライヤは、自己のファクシミリ装置が受信して用紙に印刷した前記発注内容を閲覧することによって受注を行うようになっている。

【0003】

このようなファクシミリを用いる仕入れ商品の受発注システムは、電話を用いる仕入れ商品の受発注システムと比較して、発注内容を正確に伝えることができ、かつ、受注側であるサプライヤが不在の時でも発注を行うことができる。また、前記バイヤは前記発注内容が記載された用紙を発注記録として保存することができ、前記サプライヤは自己のファクシミリ装置によって前記発注内容が印刷された用紙を受注記録として保存することができる。さらに、前記ファクシミリを用いる仕入れ商品の受発注システムは、コンピュータ等の設備投資が不要であり、コンピュータ操作のように専門知識を必要とせず、インターネットを利用する通信のようにセキュリティ上の問題が生じることもない。そのため、前記ファクシミリを用いる仕入れ商品の受発注システムは広く普及している。

【0004】**【発明が解決しようとする課題】**

しかしながら、前記従来のファクシミリを用いる仕入れ商品の受発注システムにおいて、前記バイヤ及びサプライヤは前記仕入れ商品の決済を従来通り行う必要がある。そのため、前記サプライヤは前記仕入れ商品の請求書を作成して前記バイヤに送付したり、バイヤに出向いて料金を回収したりする必要があり、煩わしく感じるだけでなく、時間がかかり、通信費等のコストも嵩（かさ）んでしま

う。また、前記バイヤは、銀行、信用金庫等の金融機関の営業店に出向き、前記仕入れ商品の代金をサプライヤの口座に振り込むための手続を行う必要があるので、煩わしく感じるだけでなく、時間がかかり、交通費等のコストも嵩んでしまう。

【0005】

さらに、前記サプライヤは、請求書を作成するために、受注記録として保存した用紙に印刷された発注内容を所定の期間毎にまとめて整理する必要があるので、煩わしく感じるだけでなく、時間がかかってしまう。また、前記バイヤも、請求書の内容を確認するために、発注記録として保存した用紙に記載された発注内容を所定の期間毎にまとめて整理する必要があるので、煩わしく感じるだけでなく、時間がかかってしまう。さらに、前記サプライヤは、入金されたか否かを確認する必要がある、煩わしく感じるだけでなく、時間がかかってしまう。

【0006】

本発明は、前記従来の受発注システムの問題点を解決して、ファクシミリを用いて仕入れ商品の受発注を行うと、自動的に代金の決済が行われるようにして、前記サプライヤは請求書を作成したり、送付したり、入金の確認をしたりする必要がなく、前記バイヤは請求書を確認したり、代金をサプライヤの口座に振り込むための手続を行ったりする必要がなく、コストが低く、簡便で、セキュリティの高いFAX受発注決済システムを提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】

そのために、本発明のFAX受発注決済システムにおいては、仕入れ商品又は役務を発注するバイヤのファクシミリ装置と、前記仕入れ商品又は役務を受注するサプライヤのファクシミリ装置と、前記仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を行う決済処理機関と、前記バイヤ及びサプライヤのファクシミリ装置並びに決済処理機関と通信可能に接続されたFAX受発注決済サービスセンタとを有し、該FAX受発注決済サービスセンタは、前記バイヤのファクシミリ装置から受信した発注情報に基づき、前記サプライヤのファクシミリ装置に発注情報を送信するとともに、前記仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を決済処理機関に依頼し

、前記決済処理の結果を含む報告を前記バイヤ及びサプライヤのファクシミリ装置に返信する。

【 0 0 0 8 】

本発明の他の F A X 受発注決済システムにおいては、さらに、前記バイヤ又はサプライヤのファクシミリ装置は、固定電話インターネットサービスに適合する。

【 0 0 0 9 】

本発明の更に他の F A X 受発注決済システムにおいては、さらに、前記 F A X 受発注決済サービスセンタは、受注情報、前記発注情報及び決済処理結果を格納するデータベースを備え、所定の期間内における前記決済処理の結果を含む報告を前記バイヤ又はサプライヤのファクシミリ装置に送信する。

【 0 0 1 0 】

本発明の更に他の F A X 受発注決済システムにおいては、さらに、前記 F A X 受発注決済サービスセンタは、バイヤ及びサプライヤ登録管理 A P 部を備え、バイヤ及び該バイヤと取引を行うサプライヤの情報をあらかじめ登録して管理する。

【 0 0 1 1 】

本発明の更に他の F A X 受発注決済システムにおいては、さらに、前記 F A X 受発注決済サービスセンタは、F A X 受信処理部及び F A X 送信処理部を備え、受信した発注書のファクシミリデータを O C R 機能を利用して分析し、確認のためにバイヤのファクシミリ装置に返信する。

【 0 0 1 2 】

本発明の更に他の F A X 受発注決済システムにおいては、さらに、前記 F A X 受発注決済サービスセンタは、送金管理部を備え、バイヤがファクシミリ装置又は電話から発注の中止又は変更の指示を送信した場合、取引の中止又は変更を行う。

【 0 0 1 3 】

本発明の更に他の F A X 受発注決済システムにおいては、さらに、記 F A X 受発注決済サービスセンタは、送金管理部を備え、サプライヤがファクシミリ装置

又は電話から発注の中止又は変更の指示を送信した場合、取引の中止又は変更を行う。

【0014】

本発明の更に他のFAX受発注決済システムにおいては、さらに、前記バイヤのファクシミリ装置が固定電話インターネットサービスに適合する場合、バイヤが認証用紙のファクシミリデータをFAX受発注決済サービスセンタに送信したとき、該FAX受発注決済サービスセンタは、受信した電話番号に基づいてバイヤの電子メールアドレスを取得し、バイヤに電子メールを送信することによってバイヤの認証を行う。

【0015】

本発明の更に他のFAX受発注決済システムにおいては、さらに、前記バイヤのファクシミリ装置が固定電話インターネットサービスに適合する場合、バイヤが認証用紙のファクシミリデータをFAX受発注決済サービスセンタに送信したとき、該FAX受発注決済サービスセンタは、受信した電話番号に基づいてバイヤの電子メールアドレスを取得し、バイヤに発注元、発注商品、発注金額等を入力することができるウェブページのURLが記載された電子メールを送信し、バイヤは前記ウェブページに入力することによって発注する。

【0016】

本発明のFAX受発注決済サービスセンタにおいては、仕入れ商品又は役務の発注情報をバイヤのファクシミリ装置から受信し、分析し、データベースに格納する受信処理部と、前記仕入れ商品又は役務の発注情報をサプライヤのファクシミリ装置に送信する送信処理部と、前記仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を行う決済処理機関と通信を行う決済処理機関通信インターフェイス部とを有し、前記発注情報に基づき、前記サプライヤのファクシミリ装置に発注情報を送信するとともに、前記仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を決済処理機関に依頼し、前記決済処理の結果を含む報告を前記バイヤ及びサプライヤのファクシミリ装置に返信する。

【0017】

本発明の他のFAX受発注決済サービスセンタにおいては、さらに、前記決済

処理に基づく資金の移動を管理する送金管理部と、前記資金の移動の履歴を格納する送金管理データベースとを有する。

【0018】

本発明の更に他のFAX受発注決済サービスセンタにおいては、さらに、所定の期間内における前記決済処理の結果を含む報告を前記バイヤ又はサプライヤのファクシミリ装置に送信する。

【0019】

本発明のFAX受発注決済サービスプログラムにおいては、仕入れ商品又は役務の受発注及び決済を行うために、コンピュータを、仕入れ商品又は役務の発注情報をバイヤのファクシミリ装置から受信する受信処理部、前記仕入れ商品又は役務の発注情報をサプライヤのファクシミリ装置に送信する送信処理部、及び、前記仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を行う決済処理機関と通信を行う決済処理機関通信インターフェイス部として機能させ、前記発注情報に基づき、前記サプライヤのファクシミリ装置に発注情報を送信するとともに、前記仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を決済処理機関に依頼し、前記決済処理の結果を含む報告を前記バイヤ及びサプライヤのファクシミリ装置に返信するようにする。

【0020】

本発明のFAX受発注決済方法においては、仕入れ商品又は役務を発注するバイヤのファクシミリ装置から発注情報を受信すると、前記仕入れ商品又は役務を受注するサプライヤのファクシミリ装置発注情報を送信するとともに、前記仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を決済処理機関に依頼し、前記決済処理の結果を含む報告を前記バイヤ及びサプライヤのファクシミリ装置に返信する。

【0021】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態について図面を参照しながら詳細に説明する。

【0022】

図1は本発明の第1の実施の形態におけるFAX受発注決済システムの概念図である。

【0023】

図において、10はFAX受発注決済システム、11は仕入れ商品を発注するバイヤ、13は仕入れ商品を受注するサプライヤである。ここで、前記バイヤ11は、前記サプライヤ13から仕入れ商品を購入する者であり、例えば、各種の商品を販売する商店であるが、レストラン、バー等の飲食店、理容室等のサービスを提供する店舗、事務所、個人等いかなる者であってもよい。また、前記仕入れ商品は、例えば、商店において販売する商品であるが、飲食店における食材、理容室における洗剤、化粧品、鋏（はさみ）等のようにサービスを提供するために必要な物品、事務所、個人等において消費又は使用する事務用品、事務機器等の物品であってもよい。さらに、前記仕入れ商品は、運送、清掃、委託事務等のサービス（役務）であってもよい。また、前記サプライヤ13は、前記バイヤ11に仕入れ商品を販売する者であり、例えば、卸売店、小売店等の商店であるが、工場等のように物品を製造する者であってもよいし、各種のサービスを提供する者であってもよい。

【0024】

そして、前記バイヤ11及びサプライヤ13は、それぞれ、自己のファクシミリ装置としてのバイヤファクシミリ装置12及びサプライヤファクシミリ装置14を有する。なお、該バイヤファクシミリ装置12及びサプライヤファクシミリ装置14は、いかなる種類のものであってもよく、例えば、通常の電話機と兼用型である家庭用の装置であってもよいし、コピー機やプリンタと一体となった複合機であってもよい。なお、IVR（Interactive Voice Request）機能を使用する場合、前記バイヤファクシミリ装置12及びサプライヤファクシミリ装置14は電話機能を有する装置である。そして、前記バイヤファクシミリ装置12及びサプライヤファクシミリ装置14は、有線又は無線の電話回線網等から成るネットワークとしての公衆回線網15に接続されている。

【0025】

また、40は、前記仕入れ商品の代金の決済処理を行う決済処理機関としての金融機関であり、例えば、銀行、信用金庫、クレジット会社等である。そして、前記金融機関40には、前記バイヤ11の口座としてのバイヤ口座41及び前記

サプライヤ12の口座としてのサプライヤ口座42が開設されているとともに、通信インターフェイス等を備える図示されない勘定系コンピュータシステムを有する。なお、該勘定系コンピュータシステムには、金融機関40における資金移動等のサービスを提供するためのANSER（アンサー：Automatic Answer Network System for Electrical Request）（R）に使用されるANSER（R）センタ43を介して、振込、振替等の金融処理の依頼を送信することができるようになっている。この場合、前記ANSER（R）センタ43は、一種のコンピュータシステムであり、決済処理機関の一部として機能する。

【0026】

そして、20はFAX受発注決済サービスセンタであり、CPU、MPU等の演算手段、半導体メモリ、磁気ディスク等の記憶手段、通信インターフェイス等を備えるコンピュータとしてのFAX受発注決済サービスサーバ21を有し、前記バイヤ11及びサプライヤ13が自己のバイヤファクシミリ装置12及びサプライヤファクシミリ装置14を用いて仕入れ商品の受発注を行うと、自動的に代金の決済を行うFAX受発注決済サービスを提供する。なお、前記FAX受発注決済サービスサーバ21は、単一の装置であってもよいし、分散型サーバのように複数のサーバが有機的に結合した装置であってもよい。また、前記FAX受発注決済サービスセンタ20を運営する者は、個人、法人、営利企業、公益団体等いかなる者であってもよく、前記金融機関40を運営する者と同じの者であってもよい。

【0027】

ここで、前記FAX受発注決済サービスセンタ20を運営する者は、あらかじめ前記バイヤ11及びサプライヤ13との間にFAX受発注決済サービスに関する契約を締結し、前記バイヤ11及びサプライヤ13に対してFAX受発注決済サービスを提供する。また、前記FAX受発注決済サービスセンタ20を運営する者は、必要に応じてあらかじめ前記金融機関40とANSER（R）センタ43を介して行う決済に関する契約を締結し、FAX受発注決済サービスサーバ21から前記仕入れ商品の代金の決済処理を依頼する、すなわち、振込、振替等の

金融処理の依頼を送信することができるようになっている。この場合、前記 F A X 受発注決済サービスセンタ 20 は、あらかじめ前記バイヤ 11 及びサプライヤ 13 の許諾を得ているので、バイヤ口座 41 からサプライヤ口座 42 への振込の依頼を A N S E R (R) センタ 43 を介して金融機関 40 の勘定系コンピュータシステムに送信することができる。

【0028】

そして、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 21 は、機能の観点から、決裁処理機関通信インターフェイス部としての銀行 I / F (I n t e r F a c e : インターフェイス) 部 22、送信処理部としての F A X 送信処理部 23、受信処理部としての F A X 受信処理部 24、送金情報出力部 25、I V R 部 26、バイヤ及びサプライヤ登録管理 A P (A p p l i c a t i o n P r o g r a m) 部 27、送金管理部 28、及び、送金管理 A P 部 29 を有する。また、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 21 は、F A X 受発注決済サービスセンタ 20 が有するデータベースとしての F A X 蓄積データベース 31、送金企業データベース 32、受取企業データベース 33 及び送金管理データベース 34 に接続されている。なお、前記 F A X 蓄積データベース 31、送金企業データベース 32、受取企業データベース 33 及び送金管理データベース 34 は、F A X 受発注決済サービスサーバ 21 から独立したものであってもよいし、F A X 受発注決済サービスサーバ 21 の内部に配設されたものであってもよい。

【0029】

ここで、前記銀行 I / F 部 22 は、A N S E R (R) センタ 43 を介して金融機関 40 の勘定系コンピュータシステムに振込の依頼を送信するためのインターフェイスであり、F A X 受発注決済サービスサーバ 21 の内部システム用のフォーマットを A N S E R (R) センタ 43 等の外部システム用のフォーマットに変換するようになっている。また、前記 F A X 送信処理部 23 は、バイヤ 11 に対する報告書、サプライヤ 13 に対する発注書等を作成し、ファクシミリによってバイヤファクシミリ装置 12 及びサプライヤファクシミリ装置 14 に送信する。さらに、前記 F A X 受信処理部 24 は、バイヤファクシミリ装置 12 からファクシミリによって送信された発注情報としての発注書を受信し、該発注書の記載事

項を分析してデータとして保存する。

【0030】

そして、前記送金情報出力部25は、サプライヤ13に対する発注書をサプライヤファクシミリ装置14に送信した後に、発注内容と発注された仕入れ商品の決済処理結果とを含む報告としての報告書を受発注処理毎及び所定の期間毎に作成して、ファクシミリによってバイヤファクシミリ装置12及びサプライヤファクシミリ装置14に送信する。なお、前記所定の期間は、例えば、一ヶ月、三ヶ月、半年等のように会計、決算等のために定められた期間であり、前記送金情報出力部25は、前記期間の末毎に前記報告書を作成して送信する。また、前記IVR部26は、バイヤ11及びサプライヤ13の電話による取引の変更や中止などに関する問い合わせに対して自動的に音声によって返答する。

【0031】

さらに、前記バイヤ及びサプライヤ登録管理AP部27は、バイヤ11及び該バイヤ11と取引を行うサプライヤ13の情報を登録して管理する。また、前記送金管理部28は、振込等の金融処理による資金移動の履歴をすべて管理する。そして、前記送金管理AP部29は、前記FAX受発注決済サービスセンタ20を運営する者又は管理する者が、操作することによって、振込等の金融処理の中止や変更を行うことができる。また、前記資金移動の履歴を検索したり参照したりすることもできるようになっている。

【0032】

そして、前記FAX蓄積データベース31は、発注情報としての前記発注書のファクシミリデータ（画像データ）及び発注内容を格納して保存する。ここで、該発注内容は、発注日時、発注した仕入れ商品の品目及び個数、金額等を含むものであり、前記FAX受信処理部24が発注書の記載事項を分析して抜き出したものである。そして、前記送金企業データベース32は、バイヤファクシミリ装置12の電話番号、金融機関40に開設されたバイヤ口座41の口座番号やパスワード等のバイヤ11の情報を格納する。また、前記受取企業データベース33は、それぞれのバイヤ11が仕入れ商品を購入する先としてあらかじめ登録したサプライヤ13の情報、すなわち、サプライヤファクシミリ装置14の電話番号

、金融機関 40 に開設されたサプライヤ口座 42 の口座番号等のサプライヤ 13 の情報を格納する。さらに、前記送金管理データベース 34 は、振込等の金融処理による資金移動の履歴をすべて格納する。

【0033】

次に、前記 F A X 受発注決済サービスセンタ 20 の各機能部の関連について説明する。

【0034】

図 2 は本発明の第 1 の実施の形態における F A X 受発注決済サービスセンタの機能ブロック図である。

【0035】

図 2 に示されるように、本実施の形態の F A X 受発注決済サービスセンタ 20 においては、送金管理部 28 が中心的な機能を果たし、送金情報出力部 25 並びにバイヤ及びサプライヤ登録管理 A P 部 27 を除くすべての機能部と直接に送受信を行うようになっている。まず、銀行 I / F 部 22 は、A N S E R (R) センタ 43 と振込等の金融取引に関する情報の送受信を行うとともに、前記送金管理部 28 と前記情報の送受信を行うようになっている。そして、I V R 部 26 は、公衆回線網 15 を介してバイヤ 11 及びサプライヤ 13 の電話と音声信号の送受信を行うとともに、前記送金管理部 28 と各種情報の送受信を行うようになっている。また、F A X 送信処理部 23 は、前記送金管理部 28 からデータを受信してバイヤ 11 及びサプライヤ 13 に対する報告書、サプライヤ 13 に対する発注書等を作成し、公衆回線網 15 を介してバイヤファクシミリ装置 12 及びサプライヤファクシミリ装置 14 に送信する。さらに、F A X 受信処理部 24 は、公衆回線網 15 を介してバイヤファクシミリ装置 12 から発注書を受信し、該発注書の記載事項を分析したデータを送金管理部 28 に送信する。

【0036】

そして、該送金管理部 28 は、F A X 蓄積データベース 31、送金企業データベース 32、受取企業データベース 33 及び送金管理データベース 34 にアクセスして、必要な情報の取得及び格納を行う。また、前記送金情報出力部 25 は、送金管理データベース 34 にアクセスして振込等の金融処理による資金移動の履

歴を取得する。さらに、前記バイヤ及びサプライヤ登録管理AP部27は、送金企業データベース32にアクセスして前記バイヤ11の情報を格納して登録し、受取企業データベース33にアクセスして前記バイヤ11と取引を行うサプライヤ13の情報を格納して登録するようになっている。

【0037】

次に、前記構成のFAX受発注決済システム10の動作について説明する。

【0038】

図3は本発明の第1の実施の形態におけるFAX受発注決済システムの動作を示す図、図4は本発明の第1の実施の形態におけるFAX受発注決済システムの動作を示すシーケンス図である。

【0039】

まず、バイヤ11は、バイヤファクシミリ装置12の電話番号、金融機関40に開設されたバイヤ口座41の口座番号やパスワード等の情報をあらかじめFAX受発注決済サービスセンタ20に登録し、また、前記バイヤ11が仕入れ商品を購入するサプライヤ13もサプライヤファクシミリ装置14の電話番号、金融機関40に開設されたサプライヤ口座42の口座番号等の情報をあらかじめFAX受発注決済サービスセンタ20に登録する。この場合、前記バイヤ11はパンの販売店であり、前記サプライヤ13はパンの製造卸売業者であるとして説明する。

【0040】

そして、バイヤ11は、発注書16に発注する仕入れ商品の品目及び個数、発注金額等を記載し、バイヤファクシミリ装置12に読み取らせる。なお、前記発注書16は宛先としてのサプライヤ13の名称、前記仕入れ商品の品目及び個数、発注金額等を記入する記入欄等があらかじめ所定のフォーマットで印刷された定型用紙であることが望ましい。続いて、前記バイヤ11がバイヤファクシミリ装置12を操作して、FAX受発注決済サービスセンタ20の電話番号を入力して送信すると、図3において矢印1で示されるように、前記発注書16のファクシミリデータが、公衆回線網15を介して、FAX受発注決済サービスセンタ20に送信される。これにより、前記バイヤ11は仕入れ商品の発注を行う。なお

、前記バイヤ11は、前記発注書16に記入することによって、代金の振込を実行する日を選択することもできる。

【0041】

続いて、前記FAX受発注決済サービスセンタ20においてFAX受発注決済サービスサーバ21が前記発注書16のファクシミリデータを受信すると、FAX受信処理部24は前記発注書16の記載事項をOCR (Optical Character Reader) を利用して読み取って分析する。そして、前記発注書16のファクシミリデータ及び発注内容は、図3において矢印2で示されるように、FAX蓄積データベース31に格納される。この場合、前記FAX受信処理部24は、OCRを利用して読み取って分析した前記発注書16の記載事項のエラーチェックを行うことが望ましい。そして、該エラーチェックの後、OCRを利用して読み取って分析した前記発注書16の記載事項を確認のためにバイヤファクシミリ装置12に返信するようにしてもよい。なお、前記バイヤ11が選択した場合、IVR部26が前記バイヤ11に前記発注書16のファクシミリデータを受信した旨を音声によって通知するようにしてもよい。

【0042】

また、前記FAX受発注決済サービスサーバ21は、前記発注書16のファクシミリデータにバイヤ11毎の発注番号を付与する。そして、前記発注書16のファクシミリデータ及び発注内容は、発注番号、受信した日時等の情報とともにFAX蓄積データベース31に格納される。これにより、前記バイヤ11は、発注番号を指定することによって、FAX蓄積データベース31に格納されている前記発注書16を検索することができる。さらに、必要に応じて、該発注書16をバイヤファクシミリ装置12に返信させることができる。

【0043】

そして、前記FAX受発注決済サービスサーバ21は、前記発注書16のファクシミリデータを送信したバイヤファクシミリ装置12の電話番号に基づいて、図3において矢印3で示されるように、送金企業データベース32にアクセスして前記バイヤ11を特定する。また、前記FAX受発注決済サービスセンタ20は、送金企業データベース32から、金融機関40に開設されたバイヤ口座41

の口座番号やパスワード等の情報も取得する。さらに、前記FAX受発注決済サービスサーバ21は、前記発注書16記載されたサプライヤ13の名称に基づいて、サプライヤ13を特定し、図3において矢印4で示されるように、受取企業データベース33にアクセスして、金融機関40に開設されたサプライヤ口座42の口座番号、サプライヤファクシミリ装置14の電話番号等の情報を取得する。

【0044】

続いて、前記FAX受発注決済サービスサーバ21は、前記発注書16のファクシミリデータを、図3において矢印5で示されるように、公衆回線網15を介して、サプライヤファクシミリ装置14に送信する。そして、該サプライヤファクシミリ装置14は 発注内容が印刷された発注書16を発行する。これにより、サプライヤ13は仕入れ商品の受注を行う。

【0045】

また、前記FAX受発注決済サービスサーバ21は、前記仕入れ商品の代金を発注書16から特定し、代金に相当する金額のバイヤ口座41からサプライヤ口座42への振込の依頼を、図3において矢印6で示されるように、ANSER(R)センタ43を介して金融機関40に送信する。なお、前記振込の依頼には、バイヤ口座41の口座番号やパスワード、サプライヤ口座42の口座番号等の情報も付加される。これにより、図3において矢印7で示されるように、金融機関40において、バイヤ口座41からサプライヤ口座42へ、前記仕入れ商品の代金に相当する金額が振り込まれる。

【0046】

続いて、前記FAX受発注決済サービスサーバ21は、図3において矢印7'で示されるように、ANSER(R)センタ43を介して資金移動の結果を取得し、図3において矢印8で示されるように、送金管理データベース34にアクセスして、バイヤ口座41からサプライヤ口座42への振込による資金移動についての情報を格納する。なお、該情報には、前記発注書16の発注番号、送金元としてのバイヤ11の名称、送金先としてのサプライヤ13の名称、取引の発生した日時（通常は、発注書16をバイヤファクシミリ装置12から受信した日時又

は発注書 16 をサプライヤファクシミリ装置 14 に送信した日時)、振込金額、摘要等の事項が含まれる。続いて、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 21 は、前記発注書 16 の発注内容と発注された仕入れ商品の決済処理結果とを含む報告書を作成して、図 3 において矢印 9 で示されるように、公衆回線網 15 を介して、バイヤファクシミリ装置 12 に送信する。なお、前記報告書には、前記発注書 16 の送信ステータス、発注内容、サプライヤ 13 の名称、取引の発生した日時、振込結果、摘要等の事項が含まれる。また、前記 I V R 部 26 がバイヤ 11 に前記報告書の内容を音声によって通知するようにしてもよい。さらに、前記報告書と同様の報告書をサプライヤファクシミリ装置 14 に送信するようにしてもよい。

【0047】

そして、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 21 は、発注内容と発注された仕入れ商品の決済処理結果とを含む報告書を所定の期間毎に作成して、図 3 において矢印 10 及び 11 で示されるように、公衆回線網 15 を介して、バイヤファクシミリ装置 12 及びサプライヤファクシミリ装置 14 に送信する。この場合、前記報告書は、例えば、一ヶ月、三ヶ月、半年等のように会計、決算等のために定められた所定の期間の末毎に作成されて送信される。なお、前記バイヤ 11 への報告書には、サプライヤ 13 の名称、前記期間内において取引の発生した日時、振込結果、摘要等の事項が含まれる。また、前記サプライヤ 13 への報告書には、バイヤ 11 の名称、前記期間内において取引の発生した日時、振込結果、摘要等の事項が含まれる。

【0048】

ここで、何らかの事情で発注の中止や発注内容の変更、すなわち、取引の中止や変更を行う場合、前記バイヤ 11 は、随時、前記取引の中止や変更に関する指示を、図 3 において矢印 12 で示されるように、バイヤファクシミリ装置 12 から F A X 受発注決済サービスサーバ 21 に送信することができる。この場合、前記バイヤ 11 は、発注番号によって前記取引を特定する必要がある。また、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 21 の送金管理部 28 は、前記サプライヤ 13 の承諾を得た後に、前記取引の中止や変更を行うようにすることが望ましい。な

お、前記バイヤ11は、前記取引の中止や変更に関する指示を音声によって前記 I V R 部 2 6 に通知することもできる。

【0049】

同様に、前記サプライヤ13は、随時、前記取引の中止や変更に関する指示を、図3において矢印13で示されるように、サプライヤファクシミリ装置14からFAX受発注決済サービスサーバ21に送信することができる。この場合、前記サプライヤ13は、発注番号によって前記取引を特定する必要がある。また、前記FAX受発注決済サービスサーバ21の送金管理部28は、前記バイヤ11の承諾を得た後に、前記取引の中止や変更を行うようにすることが望ましい。なお、前記サプライヤ13は、前記取引の中止や変更に関する指示を音声によって前記 I V R 部 2 6 に通知することもできる。

【0050】

次に、図4のシーケンス図について説明する。

ステップS1 バイヤ11は発注書16をバイヤファクシミリ装置12でFAX受発注決済サービスセンタ20に送信する。

ステップS2 受信した発注書16を格納する。

ステップS3 発信元であるバイヤファクシミリ装置12の電話番号に基づいてバイヤ11を特定する。

ステップS4 バイヤ口座41の口座番号やパスワード等の情報を取得する。

ステップS5 発注書16からサプライヤ13を特定する。

ステップS6 サプライヤ口座42の口座番号等の情報を取得する。

ステップS7 サプライヤファクシミリ装置14にバイヤ11の発注書16を送信する。

ステップS8 移動する資金を発注書16から特定する。

ステップS9 バイヤ口座41から支払金額をサプライヤ口座42へ振込を依頼する。

ステップS10 金融機関40において、バイヤ口座41からサプライヤ口座42へ振込処理を行う。

ステップS10' 金融機関40から資金移動についての情報を取得する。

- ステップS11 資金移動についての情報を格納する。
- ステップS12 取引毎に報告書を作成する。
- ステップS13 発注内容と決済処理結果の内容をバイヤファクシミリ装置12及びサプライヤファクシミリ装置14に送信して報告する。
- ステップS14 期間末に報告書を作成する。
- ステップS15 期間毎に報告書をバイヤファクシミリ装置12に送信する。
- ステップS16 期間毎に報告書をサプライヤファクシミリ装置14に送信する。
- 。

【0051】

このように、本実施の形態においては、バイヤ11が発注内容をファクシミリによってFAX受発注決済サービスセンタ20に送信することによって仕入れ商品の発注を行うと、サプライヤ13は前記発注内容をファクシミリによって前記FAX受発注決済サービスセンタ20から受信することによって仕入れ商品の受注を行うようになっている。そして、前記FAX受発注決済サービスセンタ20は、前記仕入れ商品の代金の決済処理を金融機関40に依頼し、発注内容、仕入れ商品の決済処理結果等を保存して管理するとともに、発注内容、仕入れ商品の決済処理結果等を含む報告書を前記バイヤ11及びサプライヤ13にファクシミリによって送信する。

【0052】

そのため、前記サプライヤ13は、仕入れ商品の請求書を作成したり、送付したりする必要がなく、前記仕入れ商品の代金が自動的に自己の口座に振り込まれる。また、前記バイヤ11は請求書を確認したり、代金をサプライヤ13のサプライヤ口座42に振り込むための手続を行ったりする必要がなく、前記仕入れ商品の発注を行うことができる。したがって、前記バイヤ11及びサプライヤ13の受発注に要する手間とコストを低減することができる。また、発注内容をファクシミリによって送受信するので、セキュリティ上の問題が発生することもない。

。

【0053】

次に、本発明の第2の実施の形態について説明する。なお、前記第1の実施の

形態と同じ構成を有するもの及び同じ動作については、その説明を省略する。

【0054】

図5は本発明の第2の実施の形態におけるFAX受発注決済システムの概念図、図6は本発明の第2の実施の形態におけるFAX受発注決済サービスセンタの機能ブロック図である。

【0055】

本実施の形態において、バイヤ11及びサプライヤ13は、それぞれ、自己のファクシミリ装置として固定電話インターネットサービス、すなわち、Lモード(R)に適合したファクシミリ装置であるバイヤLモード(R)ファクシミリ装置51及びサプライヤLモード(R)ファクシミリ装置52を有する。ここで、前記Lモード(R)は、固定電話機やファクシミリ装置を用いてインターネットの各種サービスや電子メールの送受信を行うことのできる固定電話インターネットサービスであり、株式会社NTTドコモ等の電話会社によって提供されている。この場合、前記バイヤLモード(R)ファクシミリ装置51及びサプライヤLモード(R)ファクシミリ装置52は、図5に示されるように、発注内容としての発注元(バイヤ11又はサプライヤ13)、発注商品(仕入れ商品)、発注金額等を入力又は表示することができる表示画面51a及び表示画面52aを有する。

【0056】

また、本実施の形態における公衆回線網15は、図6に示されるネットワークとしてのインターネット56を含むものである。そして、前記サプライヤ13は、CPU、MPU等の演算手段、半導体メモリ、磁気ディスク等の記憶手段、CRT、液晶ディスプレイ、LED(Light Emitting Diode)ディスプレイ等の表示手段、通信インターフェイス等を備え、インターネット56に接続可能なコンピュータとしての情報端末53を有する。該情報端末53は、例えば、パーソナルコンピュータであるが、インターネット56に接続して、電子メール等の送受信、データ通信等を行うことができるものであれば、PDA(Personal Digital Assistant)、電子手帳、携帯電話機、PHS(Personal Handy-Phone System

) 電話機、ゲーム機、デジタルテレビ等いかなる種類の装置であってもよい。

【0057】

そして、本実施の形態における F A X 受発注決済サービスサーバ 21 は、メール送信処理部 54 及びウェブ (W e b) サーバ 55 を有する。前記メール送信処理部 54 は、送金管理部 28 からデータを受信して、前記バイヤ 11 又はサプライヤ 13 に通知する事項を含む電子メールを作成して、インターネット 56 を介して、バイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 51、サプライヤ L モード (R) ファクシミリ装置 52 又は情報端末 53 に送信する。また、前記ウェブサーバ 55 は、送金管理部 28 からデータを受信して、インターネット 56 を介してアクセスすることができるウェブページを開設する。該ウェブページには、前記バイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 51 の表示画面 51 a に表示され、発注内容として発注元、発注商品、発注金額等を入力することが可能なウェブページも含まれる。そして、前記バイヤ 11 及びサプライヤ 13 は、バイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 51、サプライヤ L モード (R) ファクシミリ装置 52 又は情報端末 53 を操作して、前記ウェブページを閲覧したり、該ウェブページに前記発注元、発注商品、発注金額等を入力することができる。なお、本実施の形態において、F A X 受信処理部 24 は、バイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 51 からファクシミリによって送信された発注書を受信し、該発注書の記載事項を分析してデータとして保存するだけでなく、送金企業データベース 32 に格納されている前記バイヤ 11 の情報に含まれる電子メールアドレスを取得する。

【0058】

また、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 21 は、F A X 受発注決済サービスセンタ 20 が有する発注内容データベース 35 に接続されている。該発注内容データベース 35 は発注内容を格納して保存するものであり、送金管理部 28 がアクセスして、必要な情報の取得及び格納を行うようになっている。

【0059】

次に、前記構成の F A X 受発注決済システム 10 の動作について説明する。

【0060】

図 7 は本発明の第 2 の実施の形態における F A X 受発注決済システムの動作を

示す図、図 8 は本発明の第 2 の実施の形態における F A X 受発注決済システムの動作を示すシーケンス図である。

【0061】

本実施の形態において、バイヤ 11 及びサプライヤ 13 は、電子メールアドレスも情報としてあらかじめ F A X 受発注決済サービスセンタ 20 に登録しているものとする。まず、バイヤ 11 は、認証用紙 17 をバイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 51 に読み取らせ、図 7 において矢印 1 で示されるように、F A X 受発注決済サービスセンタ 20 に送信する。ここで、前記認証用紙 17 には、いかなる事項が記載されていてもよい。

【0062】

続いて、前記 F A X 受発注決済サービスセンタ 20 における F A X 受発注決済サービスサーバ 21 は、前記認証用紙 17 のファクシミリデータを受信すると、前記認証用紙 17 のファクシミリデータを送信したバイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 51 の電話番号に基づいて、図 7 において矢印 2 で示されるように、送金企業データベース 32 にアクセスして前記バイヤ 11 の電子メールアドレスを取得する。なお、前記送金企業データベース 32 には、前記電子メールアドレスに加えて、あらかじめ、バイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 51 の電話番号、金融機関 40 に開設されたバイヤ口座 41 の口座番号やパスワード等のバイヤ 11 の情報が格納されている。

【0063】

続いて、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 21 は、図 7 において矢印 3 で示されるように、発注元、発注商品、発注金額等を入力することができるウェブページの URL (Uniform Resource Locator) が記載されている電子メールをバイヤ 11 に送信する。そして、バイヤ 11 がバイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 51 を操作して、図 7 において矢印 4 で示されるように、前記 URL にアクセスして、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 21 のウェブサーバ 55 に開設されているウェブページを取得して、バイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 51 の表示画面 51 a に表示させる。続いて、前記バイヤ 11 は、発注内容として、発注先、発注商品、発注金額等を前記ウェブページ

に入力する。なお、前記第1の実施の形態と同様に、発注書16に発注内容としての発注先、発注商品、発注金額等を記載し、バイヤLモード(R)ファクシミリ装置51に読み取らせることによって入力することもできる。続いて、前記バイヤ11は、バイヤLモード(R)ファクシミリ装置51を操作して、発注先、発注商品、発注金額等が入力されたウェブページを前記FAX受発注決済サービスサーバ21に返信する。これにより、前記バイヤ11は仕入れ商品の発注を行う。なお、前記バイヤ11は、前記発注書16に記入することによって、代金の振込を実行する日時を選択することもできる。

【0064】

続いて、前記FAX受発注決済サービスサーバ21は、図7において矢印5で示されるように、前記発注内容を発注内容データベース35に格納して保存する。また、前記FAX受発注決済サービスサーバ21は、受け付けた発注毎に発注番号を付与する。そして、前記発注の発注内容は、発注番号、受信した日時、摘要等の情報とともに発注内容データベース35に格納される。これにより、前記バイヤ11は、発注番号を指定することによって、発注内容データベース35に格納されている前記発注を検索することができる。また、必要に応じて、該発注の発注内容をファクシミリ又は電子メールによってバイヤLモード(R)ファクシミリ装置51に返信させることができる。さらに、前記FAX受発注決済サービスサーバ21は、前記発注内容をウェブサーバ55に開設されているウェブページに掲載することもできる。

【0065】

続いて、前記FAX受発注決済サービスサーバ21は、前記発注先に基づいて、サプライヤ13を特定し、図7において矢印6で示されるように、受取企業データベース33にアクセスして、金融機関40に開設されたサプライヤ口座42の口座番号、サプライヤLモード(R)ファクシミリ装置52の電話番号、電子メールアドレス等の情報を取得する。

【0066】

続いて、前記FAX受発注決済サービスサーバ21は、前記発注内容のファクシミリデータを、図7において矢印7で示されるように、公衆回線網15を介し

て、サプライヤLモード(R)ファクシミリ装置52に送信する。そして、該サプライヤLモード(R)ファクシミリ装置52は 発注内容が印刷された発注書16を発行する。これにより、サプライヤ13は仕入れ商品の受注を行う。

【0067】

なお、前記FAX受発注決済サービスサーバ21は、前記発注内容が掲載されているウェブページのURLが記載された電子メールをサプライヤLモード(R)ファクシミリ装置52又は情報端末53に送信してもよい。この場合、サプライヤ13は前記サプライヤLモード(R)ファクシミリ装置52又は情報端末53を操作して、図7において矢印8で示されるように、前記URLにアクセスして、前記FAX受発注決済サービスサーバ21のウェブサーバ55に開設されているウェブページを取得して、サプライヤLモード(R)ファクシミリ装置52の表示画面52a又は情報端末53の表示手段に表示させる。この場合、サプライヤ13は前記サプライヤLモード(R)ファクシミリ装置52の表示画面52a又は情報端末53を閲覧して仕入れ商品の受注を行う。なお、サプライヤLモード(R)ファクシミリ装置52は、表示画面52aに表示された発注内容が印刷された発注書16を発行することもできる。

【0068】

また、前記FAX受発注決済サービスサーバ21は、前記仕入れ商品の代金に相当する金額のバイヤ口座41からサプライヤ口座42への振込の依頼を、図7において矢印9で示されるように、ANSER(R)センタ43を介して金融機関40に送信する。なお、前記振込の依頼には、バイヤ口座41の口座番号やパスワード、サプライヤ口座42の口座番号等の情報も付加される。これにより、図7において矢印10で示されるように、金融機関40において、バイヤ口座41からサプライヤ口座42へ、前記仕入れ商品の代金に相当する金額が振り込まれる。

【0069】

続いて、前記FAX受発注決済サービスサーバ21は、図7において矢印10'で示されるように、ANSER(R)センタ43を介して資金移動の結果を取得し、図7において矢印11で示されるように、送金管理データベース34にア

クセスして、バイヤ口座 41 からサプライヤ口座 42 への振込による資金移動についての情報を格納する。なお、該情報には、前記発注書 16 の発注番号、送金元としてのバイヤ 11 の名称、送金先としてのサプライヤ 13 の名称、取引の発生した日時、振込金額、摘要等の事項が含まれる。

【0070】

続いて、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 21 は、前記発注内容と発注された仕入れ商品の決済処理結果とを含む報告書を作成して、図 7 において矢印 12 で示されるように、公衆回線網 15 を介して、バイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 51 に送信する。なお、前記報告書には、前記発注書 16 の送信ステータス、発注内容、サプライヤ 13 の名称、取引の発生した日時、振込結果、摘要等の事項が含まれる。また、前記報告書と同様の報告書をサプライヤ L モード (R) ファクシミリ装置 52 に送信するようにしてもよい。さらに、前記 I V R 部 26 がバイヤ 11 に前記報告書の内容を音声によって通知するようにしてもよいし、メール送信処理部 54 が前記報告書が記載された電子メールをバイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 51 に送信するようにしてもよい。

【0071】

そして、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 21 は、発注内容と発注された仕入れ商品の決済処理結果とを含む報告書を所定の期間毎に作成して、図 7 において矢印 13 及び 14 で示されるように、公衆回線網 15 を介して、バイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 51 及びサプライヤ L モード (R) ファクシミリ装置 52 に送信する。この場合、前記報告書は、例えば、一ヶ月、三ヶ月、半年等のように会計、決算等のために定められた所定の期間の末毎に作成されて送信される。なお、前記バイヤ 11 への報告書には、サプライヤ 13 の名称、前記期間内において取引の発生した日時、振込結果、摘要等の事項が含まれる。また、前記サプライヤ 13 への報告書には、バイヤ 11 の名称、前記期間内において取引の発生した日時、振込結果、摘要等の事項が含まれる。さらに、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 21 は、前記報告書が記載された電子メールをバイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 51 及びサプライヤ L モード (R) ファクシミリ装置 52 に送信するようにしてもよい。

【0072】

また、前記FAX受発注決済サービスサーバ21は、前記報告書をウェブサーバ55に開設されているウェブページに掲載し、該ウェブページのURLをバイヤLモード(R)ファクシミリ装置51及びサプライヤLモード(R)ファクシミリ装置52又は情報端末53に送信してもよい。この場合、バイヤ11及びサプライヤ13は前記バイヤLモード(R)ファクシミリ装置51及びサプライヤLモード(R)ファクシミリ装置52又は情報端末53を操作して、前記URLにアクセスして、前記FAX受発注決済サービスサーバ21のウェブサーバ55に開設されているウェブページを取得する。

【0073】

ここで、何らかの事情で発注の中止や発注内容の変更、すなわち、取引の中止や変更を行う場合、前記バイヤ11は、随時、前記取引の中止や変更に関する指示をバイヤLモード(R)ファクシミリ装置51からFAX受発注決済サービスサーバ21に送信することができる。この場合、前記バイヤ11は、発注番号によって前記取引を特定する必要がある。また、前記FAX受発注決済サービスサーバ21の送金管理部28は、前記サプライヤ13の承諾を得た後に、前記取引の中止や変更を行うようにすることが望ましい。なお、前記バイヤ11は、前記取引の中止や変更に関する指示を音声によって前記IVR部26に通知することもできる。

【0074】

同様に、前記サプライヤ13は、随時、前記取引の中止や変更に関する指示を、サプライヤLモード(R)ファクシミリ装置52からFAX受発注決済サービスサーバ21に送信することができる。この場合、前記サプライヤ13は、発注番号によって前記取引を特定する必要がある。また、前記FAX受発注決済サービスサーバ21の送金管理部28は、前記バイヤ11の承諾を得た後に、前記取引の中止や変更を行うようにすることが望ましい。なお、前記サプライヤ13は、前記取引の中止や変更に関する指示を音声によって前記IVR部26に通知することもできる。

【0075】

次に、シーケンス図について説明する。

ステップS 2 1 バイヤ1 1は認証用紙1 7をバイヤファクシミリ装置1 2でFAX受発注決済サービスセンタ2 0に送信する。

ステップS 2 2 送金企業データベース3 2から発信元であるバイヤLモード(R)ファクシミリ装置5 1の電話番号に基づいて電子メールアドレスを特定する。

ステップS 2 3 発注情報入力のためのウェブページのURLが記載されている電子メールをバイヤ1 1に送信する。

ステップS 2 4 バイヤ1 1は前記URLにアクセスして、ウェブページを表示させ、発注内容を入力する。

ステップS 2 5 発注内容を発注内容データベース3 5に保存し、発注毎に発注番号を付与する。

ステップS 2 6 受取企業データベース3 3からサプライヤ口座4 2の口座番号、サプライヤLモード(R)ファクシミリ装置5 2の電話番号、電子メールアドレス等の情報を取得する。

ステップS 2 7 発注内容のファクシミリデータを送信する。又は発注内容が保存されているURLを格納した電子メールを送信する。

ステップS 2 8 電子メールを受信した場合、発注情報確認のためのURLにアクセスする。

ステップS 2 9 バイヤ口座4 1から支払金額をサプライヤ口座4 2へ振込を依頼する。

ステップS 3 0 金融機関4 0において、バイヤ口座4 1からサプライヤ口座4 2へ振込処理を行う。

ステップS 3 0' 金融機関4 0から資金移動についての情報を取得する。

ステップS 3 1 資金移動についての情報を格納する。

ステップS 3 2 取引毎に報告書を作成する。

ステップS 3 3 発注内容と決済処理結果の内容をバイヤLモード(R)ファクシミリ装置5 1に送信して報告する。

ステップS 3 4 期間末に報告書を作成する。

ステップ S 3 5 期間毎に報告書をバイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 5 1 に送信する。

ステップ S 3 6 期間毎に報告書をサプライヤ L モード (R) ファクシミリ装置 5 2 に送信する。

【0076】

このように、本実施の形態においては、バイヤ 1 1 及びサプライヤ 1 3 は、L モード (R) に適合したファクシミリ装置であるバイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 5 1 及びサプライヤ L モード (R) ファクシミリ装置 5 2 を使用するようになっている。そのため、仕入れ商品の受発注をファクシミリによって行うこともでき、電子メールやウェブページを利用して行うこともできるので、前記バイヤ 1 1 及びサプライヤ 1 3 は、自己に都合のよい手段を選択して仕入れ商品の受発注を行うことができる。

【0077】

なお、前記第 1 及び第 2 の実施の形態においては、金融機関 4 0 に開設されたバイヤ口座 4 1 からサプライヤ口座 4 2 に振込を行うことによって仕入れ商品の代金の決済処理を行う場合について説明したが、前記決済処理は、クレジットカード等を利用するクレジット決済処理であってもよいし、電子マネーを利用する決済処理であってもよいし、決済サービス機関が決済処理を代行するネット決済システムを利用した決済処理であってもよいし、いかなる種類の決済処理であってもよい。

【0078】

また、本発明は前記実施の形態に限定されるものではなく、本発明の趣旨に基づいて種々変形させることが可能であり、それらを本発明の範囲から排除するものではない。

【0079】

【発明の効果】

以上詳細に説明したように、本発明によれば、ファクシミリを用いて仕入れ商品の受発注を行うと自動的に代金の決済が行われるので、サプライヤは請求書を作成したり、送付したり、直接バイヤに出向いたりする必要がなく、バイヤは請

求書を確認したり、代金をサプライヤの口座に振り込むための手続を行ったりする必要がなく、また、サプライヤは入金の確認をする必要がなく、仕入れ商品の受発注のコストを低減し、前記仕入れ商品の受発注を簡便に行うことができ、さらに、前記仕入れ商品の受発注のセキュリティを高くすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の第 1 の実施の形態における F A X 受発注決済システムの概念図である。

【図 2】

本発明の第 1 の実施の形態における F A X 受発注決済サービスセンタの機能ブロック図である。

【図 3】

本発明の第 1 の実施の形態における F A X 受発注決済システムの動作を示す図である。

【図 4】

本発明の第 1 の実施の形態における F A X 受発注決済システムの動作を示すシーケンス図である。

【図 5】

本発明の第 2 の実施の形態における F A X 受発注決済システムの概念図である。

【図 6】

本発明の第 2 の実施の形態における F A X 受発注決済サービスセンタの機能ブロック図である。

【図 7】

本発明の第 2 の実施の形態における F A X 受発注決済システムの動作を示す図である。

【図 8】

本発明の第 2 の実施の形態における F A X 受発注決済システムの動作を示すシーケンス図である。

【符号の説明】

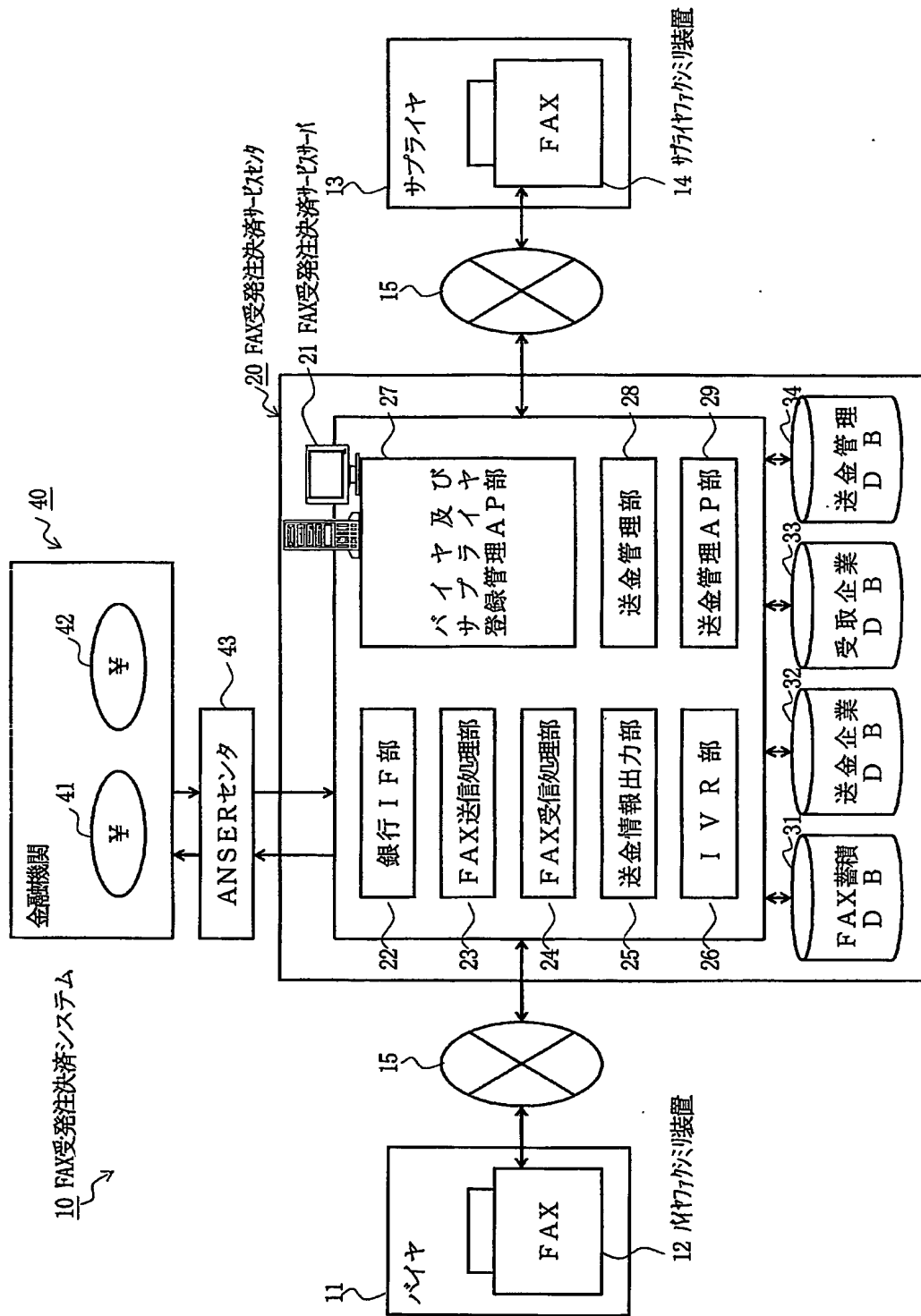
10 F A X 受発注決済システム

- 1 1 バイヤ
- 1 2 バイヤファクシミリ装置
- 1 3 サプライヤ
- 1 4 サプライヤファクシミリ装置
- 2 0 F A X 受発注決済サービスセンタ
- 2 1 F A X 受発注決済サービスサーバ
- 2 2 銀行 I / F 部
- 2 3 F A X 送信処理部
- 2 4 F A X 受信処理部
- 2 8 送金管理部
- 3 1 F A X 蓄積データベース
- 3 4 送金管理データベース
- 4 0 金融機関
- 5 1 バイヤ L モード (R) ファクシミリ装置
- 5 2 サプライヤ L モード (R) ファクシミリ装置

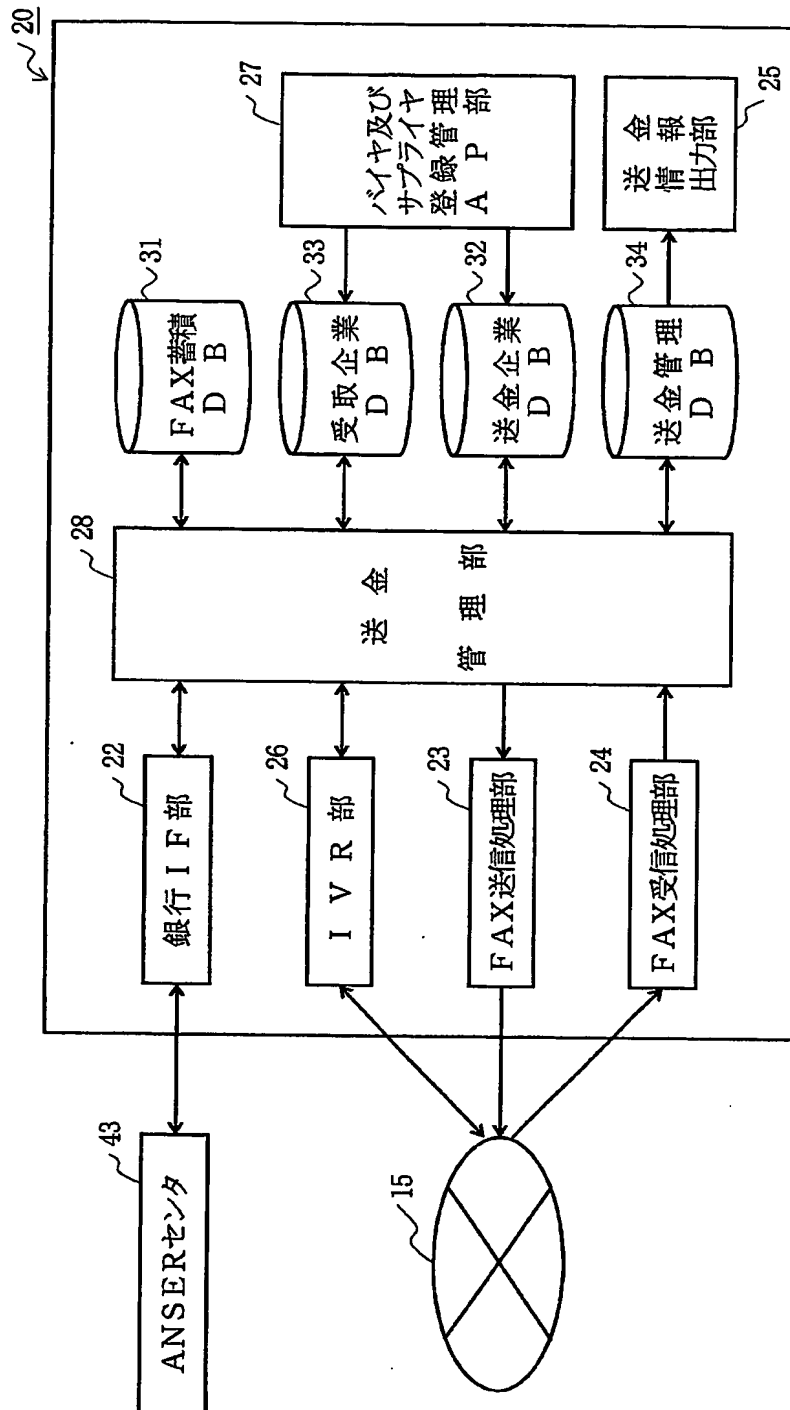
【書類名】

図面

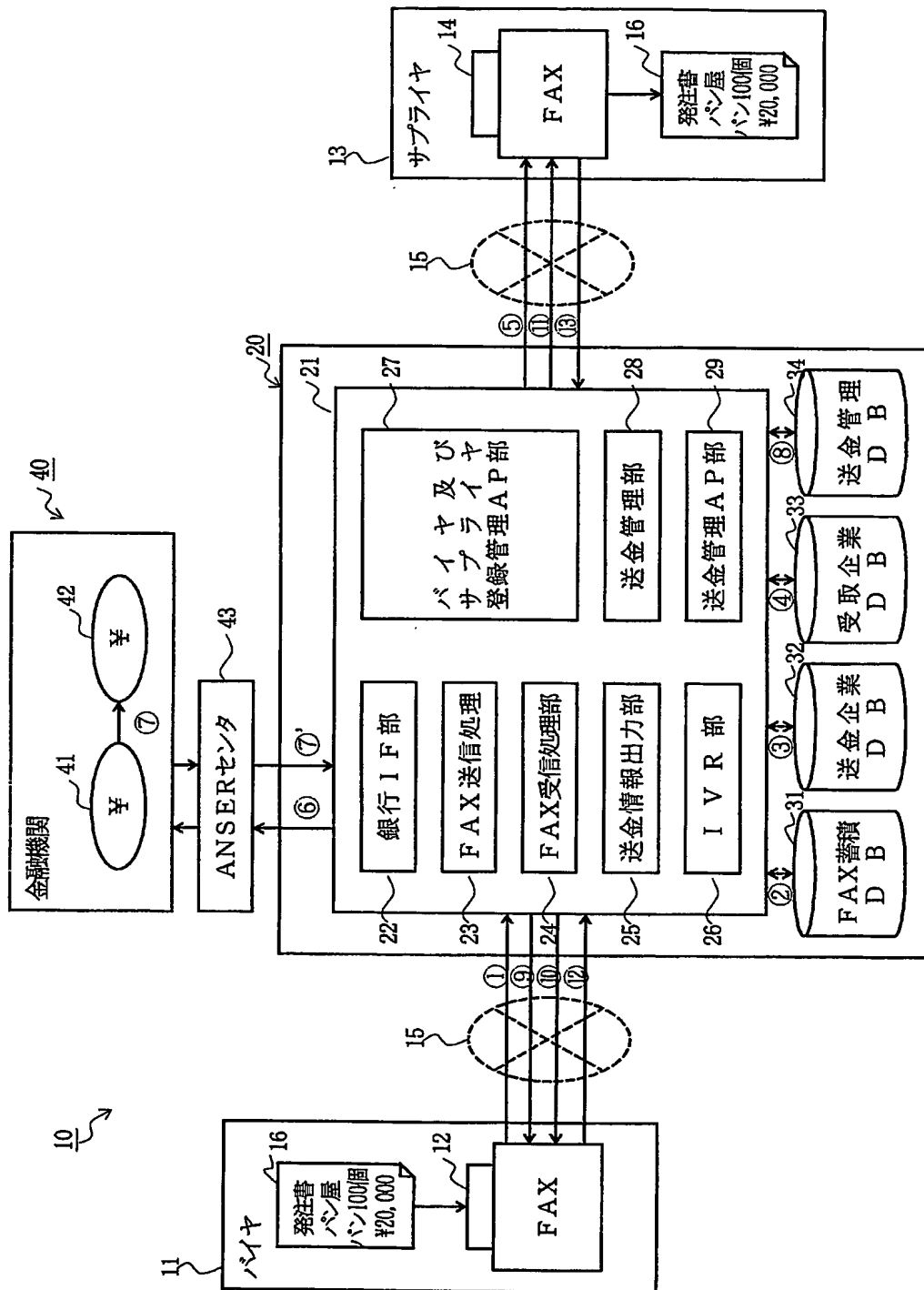
【図 1】



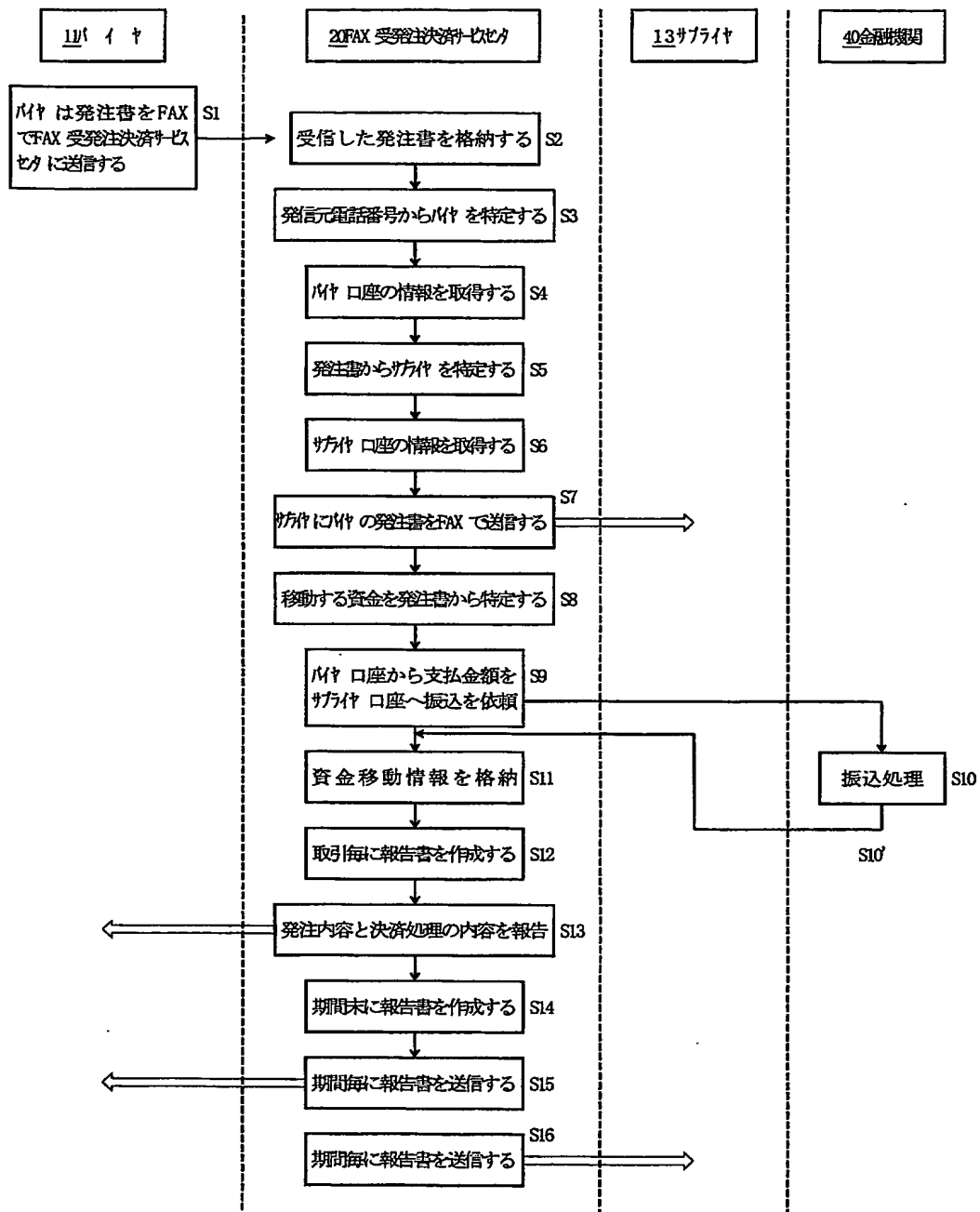
【図 2】



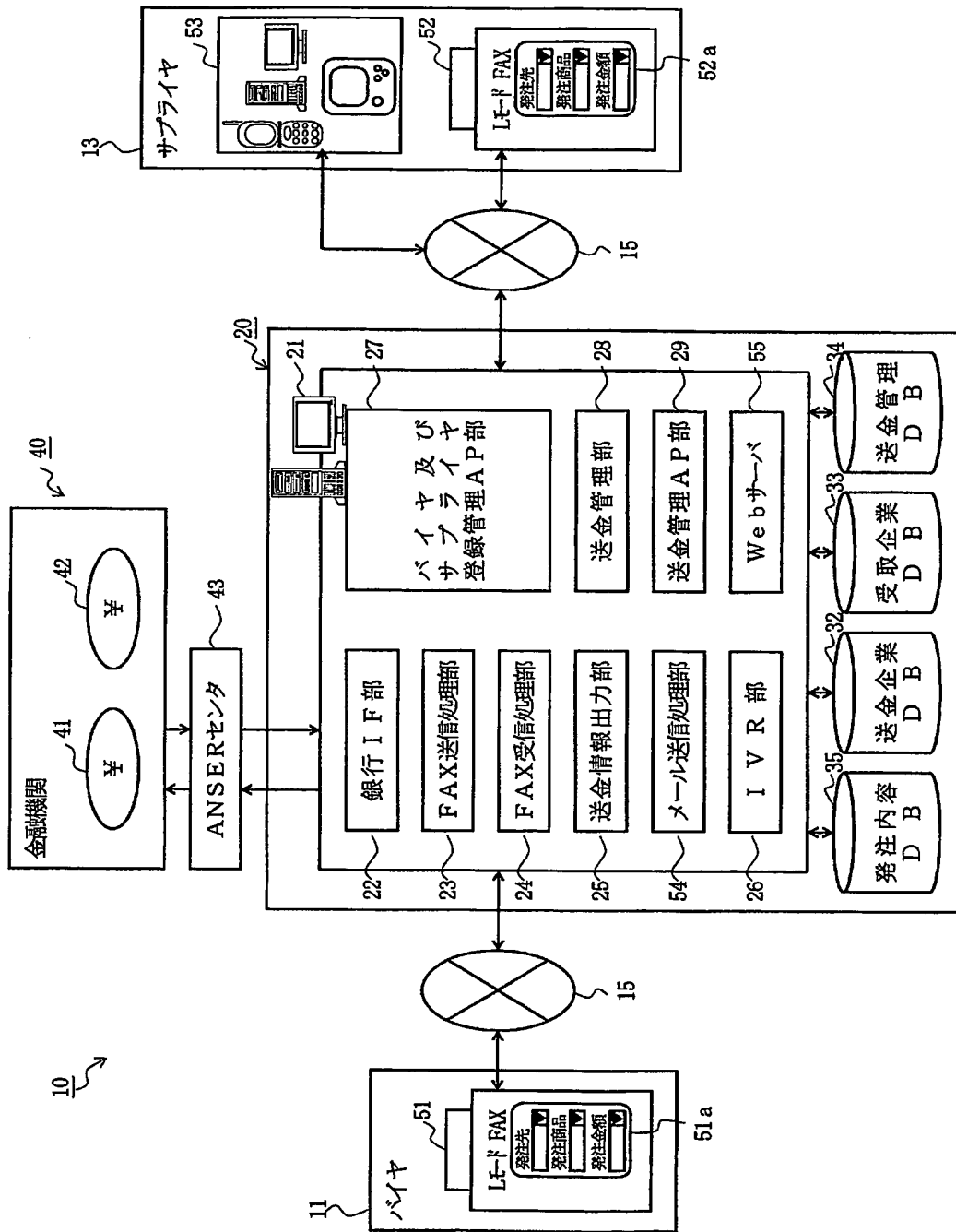
【図 3】



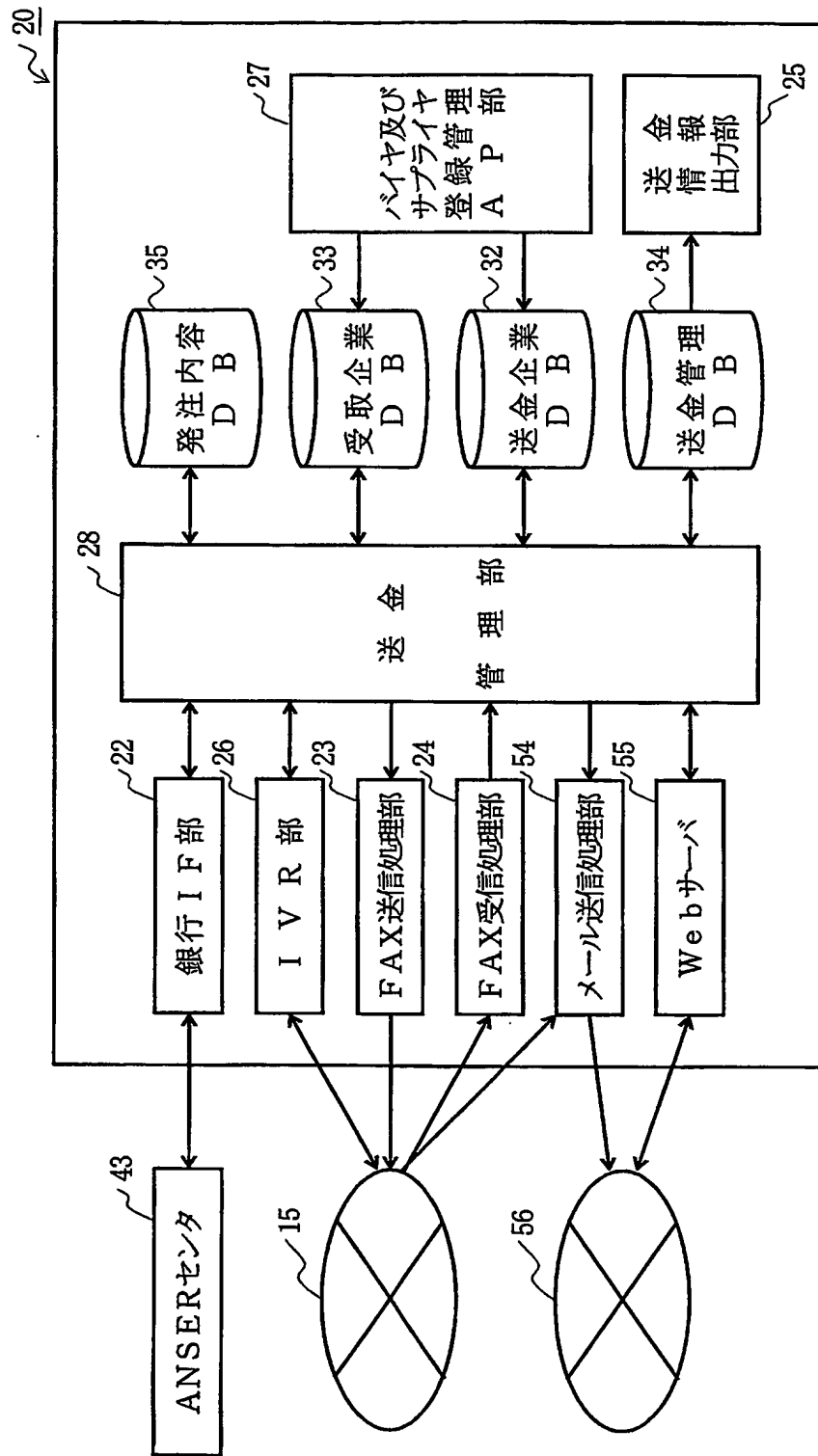
【図 4】



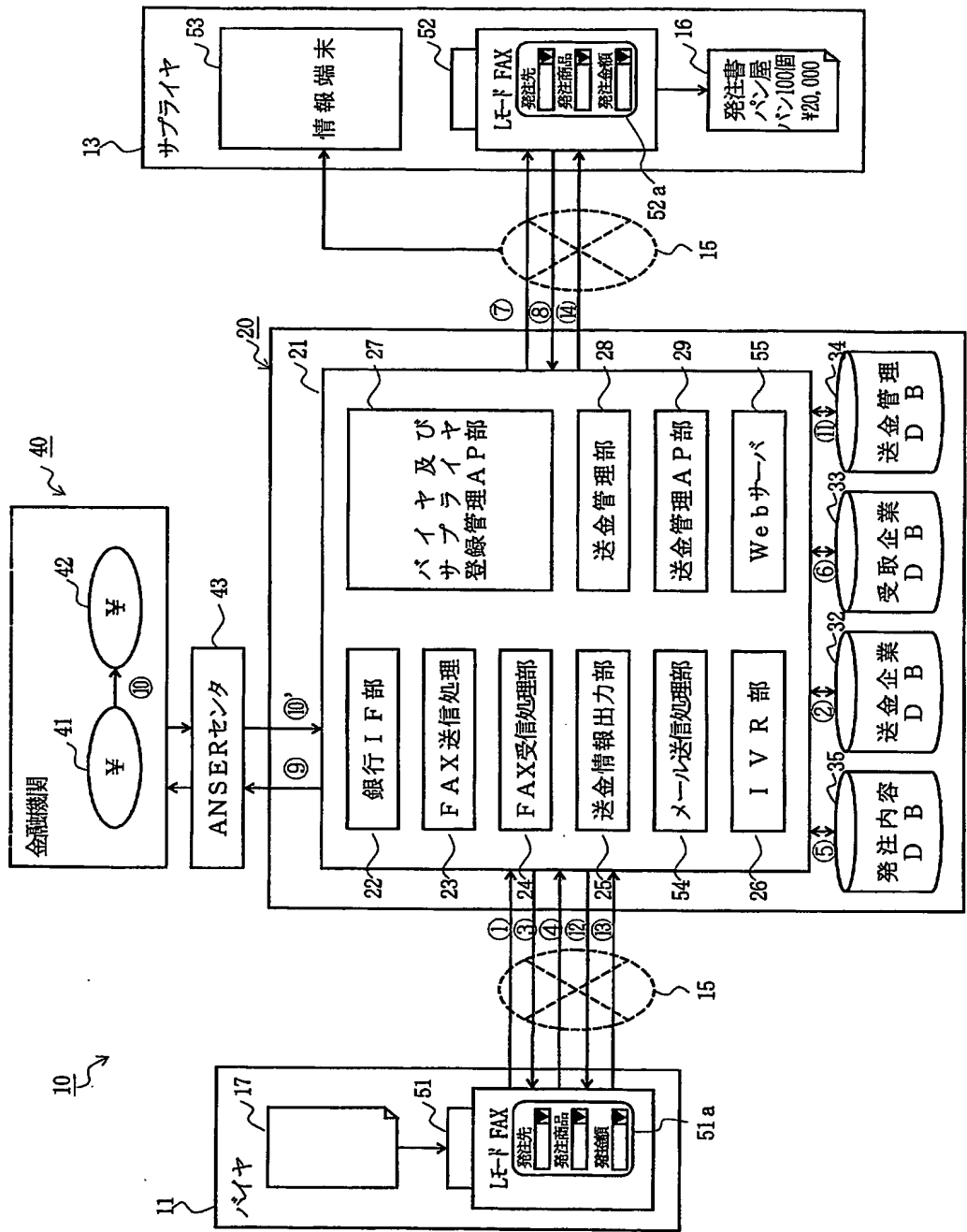
【図 5】



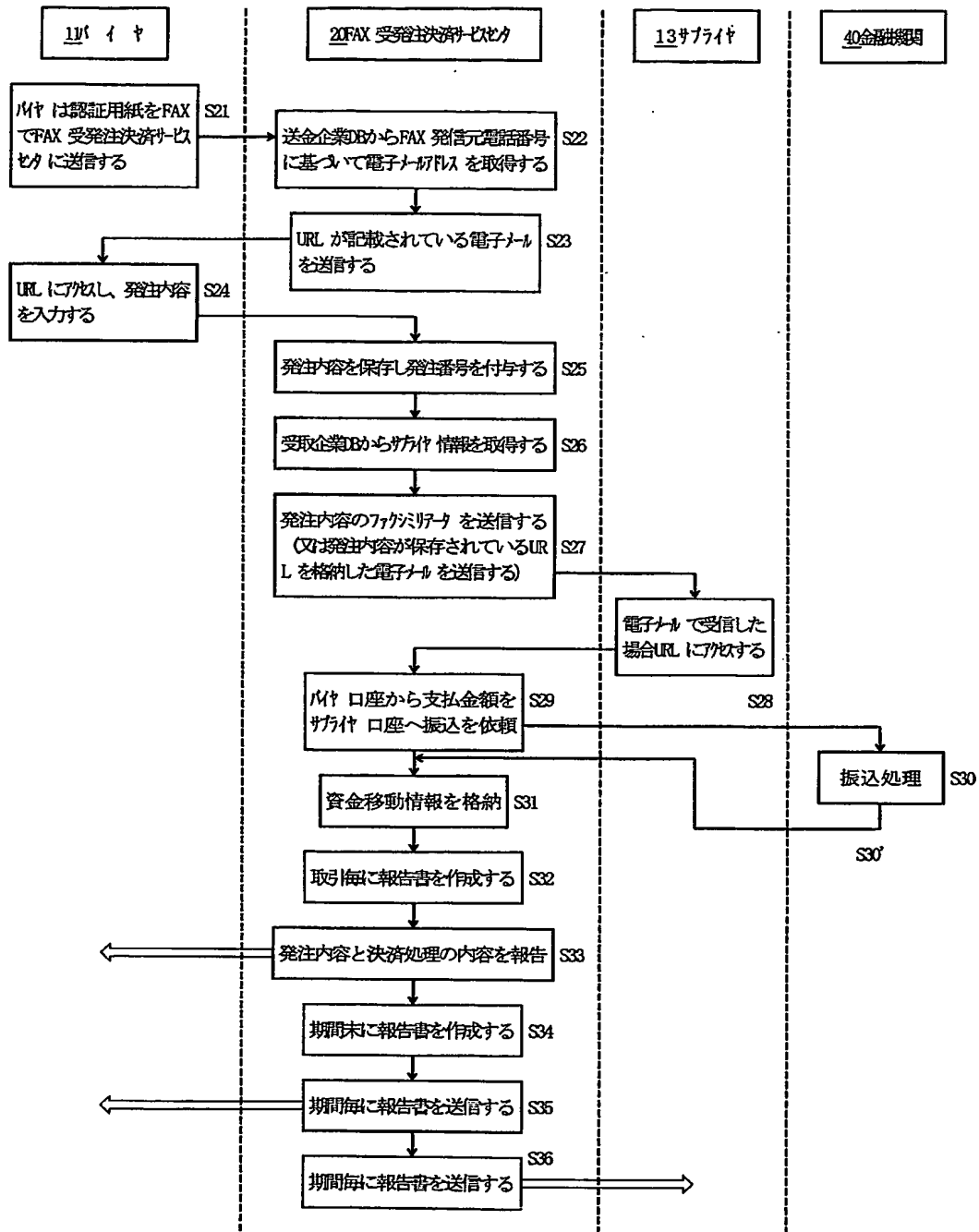
【図 6】



【図 7】



【図 8】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ファクシミリを用いて仕入れ商品の受発注を行うと、自動的に代金の決済が行われるようにして、前記サプライヤは請求書を作成したり、送付したり、入金の確認をしたりする必要がなく、前記バイヤは請求書を確認したり、代金をサプライヤの口座に振り込むための手続を行ったりする必要がなく、コストが低く、簡便で、セキュリティの高くなるようにする。

【解決手段】 F A X 受発注決済サービスセンタは、バイヤのファクシミリ装置から受信した発注情報に基づき、サプライヤのファクシミリ装置に発注情報を送信するとともに、仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を決済処理機関に依頼し、前記決済処理の結果を含む報告を前記バイヤ及びサプライヤのファクシミリ装置に返信する。

【選択図】 図 1

特願 2 0 0 2 - 3 1 6 2 8

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [0 0 0 0 0 0 2 9 5]

1. 変更新月日 1 9 9 0 年 8 月 2 2 日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号

氏 名 沖電気工業株式会社